

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算      支出科目   款：農林水産業費   項：農業費   目：農業改良普及費

事業名【新】農業基礎技術普及事業費（R8実施分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部   農業経営課   普及企画係   電話番号：058-272-1111（内4084）

E-mail： c11419@pref.lg.jp

1 事業費   補正要求額                      4,700   千円      (現計予算額：    0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	4,700	2,200	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	4,700	2,200	0	0	0	0	0	0	2,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

食料自給率の向上を図るためには、従来の大規模農家の育成に加え、都市住民や企業など多様な主体の参入を促す「ハイブリッド型」の農業構造への転換が求められている。こうした多様な主体の農業参画を促進するアグリパーク構想の着実な実行に向け、普及指導員の専門的な農業技術をアグリパークへ提供することが求められている。

(2) 事業内容

アグリパーク開設者からの要請に応じ、専門知識を有する普及指導員が、オーダーメイド型での技術サポートを現場で実施する。

- ・座学研修への支援（カリキュラム作成への助言、講師対応など）
- ・体験実習への支援（肥培管理、病虫害防除指導など）
- ・指導力強化に向けた研鑽活動（他県事例の調査・分析など）

(3) 県負担・補助率の考え方

地方創生推進交付金（地域未来交付金）活用

(4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

#### ■農業基礎技術普及事業費

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	0	
旅費	300	先進事例調査等旅費
消耗品費	2,850	基礎技術指導に係る普及課消耗品費 10農林
印刷製本費	180	活動成果等のリーフレット等
役務費	150	土壌分析費
使用料	320	研修会場使用料、貸切バス借り上げ料
備品購入費	200	基礎技術指導機器（プロジェクター）
負担金		
合計	4,000	うち交付金対象経費 3,700千円

#### ■農業基礎技術普及事業費（維持管理分）

事業内容	金額	事業内容の詳細
燃料費	700	公用車燃料費
合計	700	

#### 決定額の考え方

#### 4 参考事項（1）各種計画での位置づけ

##### 4 参考事項

##### （1）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略、岐阜県男女共同参画計画（第5次）
- ・「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」

##### （2）国・他県の状況

複数の都道府県で、農業への参入障壁を下げる事業が展開されている。

##### （3）後年度の財政負担

普及指導基本計画（5ヵ年）に沿って行われており、継続が必要である。

##### （4）事業主体及びその妥当性

農業改良助長法に基づき、県が農産物のブランド展開の支援を実施

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和12年度までに「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）（令和8～12年）」を実現

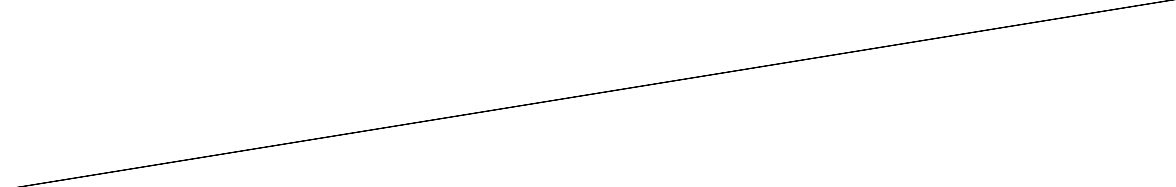
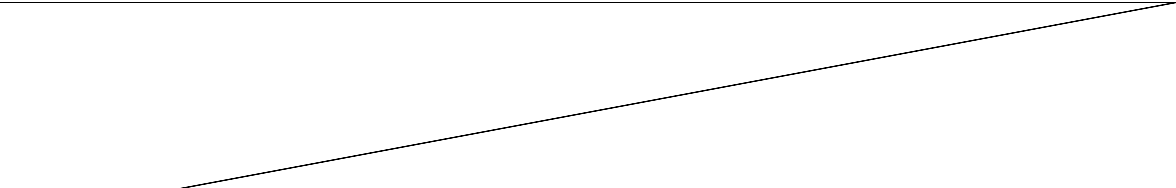
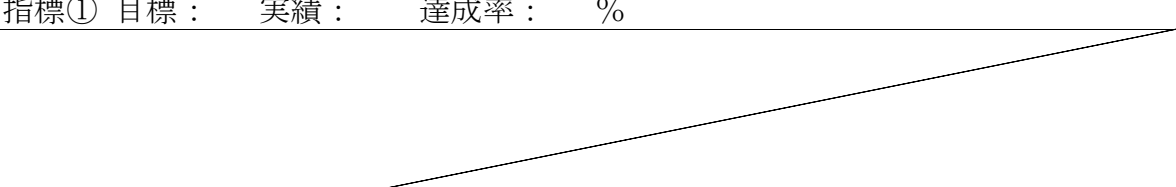
### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

アグリパーク開設者からの要請に応じ、専門知識を有する普及指導員の技術サポート事業のため指標を設定することが困難。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)  
3

アグリパークに求められる多様なニーズに対応するためには、普及指導員が専門的な農業技術を提供していく必要がある。

#### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

普及指導員がアグリパークに対する指導を実施するための経験が少ないため、普及指導員自身の指導力の向上も併せて図る必要がある。

### (次年度の方角性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせる理由  
や期待する効果 など

【〇〇課】